

- 英語教育部会の取り組み
- ピア・メンター育成キャンプ
学生インタビュー
- 「長野県内大学合同就職説明会」
開催を通して感じたこと
- 「K³茶論」にお越しください!
- 後期「遠隔授業」開講中です!
- 加盟大学の紹介
- 賛助会員加入と会員募集のお知らせ
- 障害学生支援フォーラムに共催しました
- 編集後記

高等教育コンソーシアム信州事務局
〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学学務課内
電話：0263-37-2427 FAX：0263-36-3044
URL：http://www.c-snet.jp/ MAIL：office@c-snet.jp

※「S-NET」は高等教育コンソーシアム信州の通称です。「S」は Shinshu・Self-Study・Share・Scale・Social を表し、「NET」は情報通信・教職員・学生間のネットワークを表します。

英語教育部会の取り組み

英語教育に関する講演会を定例開催

英語教育部会は、県内大学の英語教育力アップを目指して8大学の英語教員で組織されたものです。特に英語が選ばれた理由は、学部・学科構成の異なる8大学にあって、英語は唯一共通開講している科目であり、全大学間の連携が可能とされたことです。

平成20年度の部会開設時には、まず、各大学の英語を含めた外国語科目の調査を行いました。その中で、各大学の英語教育の特色や様々な工夫、さらに、英語教育特有の難しさなどが話題にのぼり、これを受けて、授業改善のヒントをメンバー間で共有することを部会の目標の一つとすることにしました。具体的な活動としては、各大学の講義担当者に自大学の英語教育に関する講演をお願いし、取り組み内容を開示していただくことにしました。

平成21年度の第1回講演会では、清泉女学院大学の田村亮子先生による「たてなおしの英語」をお願いし、英語に苦手意識をもつ学生に対する教育法についてお話しいただきました。ICT技術を用いて学生各自に講義内容を繰り返し学ばせる方法が採られているとのことで、卓抜

な講義内容とも相まって、高い教育効果が得られていることがうかがえました。

平成22年度の第2回目は、長野大学の佐藤秀樹先生に同大学の英語教育について講演していただきました。各大学で行われている習熟度別クラス編成をさらに進め、グレードの異なる8科目もの英語科目を用意して、学生のレベルに応じて選択受講させるシステムを導入しているとお話でした。上級クラスに段階的に進級させることで学生に自己のレベル向上を明確に自覚させ、学習意欲を高める工夫であることが分かりました。

11月に開催された第3回目は、松本大学の「ガイド英語」についての講演を中田和子先生にお願いしました。その中で、学生に対して英語学習の具体的な目的（ここでは松本城のガイド）を与えることの重要性についてお話しいただきました。今後も年2回程度の講演会を開催して行く予定です。

コンテンツを増やし教育サービスの向上を図る

部会の第二の目標は、遠隔講義システムを用いた初習外国語の配信です。規模が小さく十分な初習外国語科目が用意できない大学に他大学からの講義を配信し、科目メニューを増やすことによる教育サービスの向上を図るのが目的です。現在、各大学の希望科目が出揃い、来年度以降の配受信に向けた作業を行っているところです。外国語科目の遠隔講義に授業並みの教育効果を期待することには疑問がある、との指摘もあり、実施段階では何らかの工夫が必要と考えています。

その他の取り組みとして、清泉女学院大学田村先生の「たてなおしの英語」を題材とした高等教育コンソーシアム信州独自のコンテンツを制作し、県内大学が英語の教材・副教材などに活用する計画が進行しています。同コンテンツに対しては、各大学の英語教育力向上（リメディアル教育を含む）への支援効果が期待され、本コンソーシアム事業の目標の一つである「信州モデルの教育」実現に向けた第一歩に繋がることにもなるのです。



高等教育コンソーシアム信州 英語教育部会リーダー 宮澤 悟
(諏訪東京理科大学 システム工学部教授)

ピア・メンター育成キャンプ 学生インタビュー

8月30日(月)、31日(火)の2日間、国立信州高遠青少年自然の家(伊那市)において、ピア・メンター育成キャンプが開催されました。県内7大学から、昨年度より多い学生33名、教職員14名が参加し、2日間を通して6つのグループワークを実践しました。キャンプ終了後、参加学生の長野大学企業情報学部企業情報学科3年松嶋欽一さんにお話を伺いました。

Q. 大学(学部)ではどのような授業を?

A. デザインについての授業や、経営と経済、広告、プログラミングなどパソコンの専門的な授業が「専門科目」という群になっていて、企業情報学部の特色ある授業として開講されています。

Q. 楽しいですか?

A. 楽しい授業はすごく楽しいです!自分の専攻が主に広告関係なので、先生が話している事を聞くだけでも興味深いし、楽しいなと思いますね。授業の最後にちょっとした企画書を作ったり、デザインだとポスターを作ったりしています。

Q. ピア・メンター育成キャンプへ参加した理由は?

A. 自分は大学でゼミやオープンキャンパスのスタッフをやっている、オープンキャンパスではピア・メンターをしているんです。普段していることについて、長野県内のいろいろな大学の先生や学生がいる中で、自分のレベルはどのくらいで、自分はどれくらいできるのか、通用するのかなと思ったからです。

スキル向上のためにも参加しました。このピア・メンター育成キャンプでの経験は、大学内にいても出来ないし、ここでスキルアップして、後輩に(経験を)残せたらいいなと思いました。

Q. 今回の経験を同級生や後輩にフィードバックする機会はある?

A. 機会は作らないとないかもしれませんが、個人的に教えることはできますね。例えばオープンキャンパスの打ち上げなど多くの学生が集まる場で、ピア・メンター育成キャン

プの成果を伝えられますしね。

Q. 参加前と後の自身の変化は?

A. リーダーとしての自覚や仕事内容、雰囲気作りなどを改めて実感したということと、コミュニケーション能力が成長したと思います。コミュニケーション能力は、どれだけ相手の事を知ることができて、どれだけ自分が伝わるかということだと思います。対応能力というか応用する能力というか。ゼミの先生からは「コミュニケーションが一番大切」と教えられているので、今回のキャンプでは勉強になりました。今は、キャンプで学んだことを今後の大学生活で活かしていけたらな、という気持ちです。

Q. 初対面の人と話してみて、他大学の教授、学生の印象は?

A. 初対面は嫌いではないので慣れていくというのもおかしいですが、初対面の雰囲気は結構経験してきていると思っていました。でも、みんな個性が豊かで、相手に合わせて対応を変えたり、自分の立ち位置を考えたりしていましたね。

しゃべっていない人がいたら聞いてみたり、よく話す人は人の意見を尊重したり、意見がまとまらなくなって来たときは、いち早く気づいてまとめる方向に持っていったり、他大学の学生はすごいなと思いました。みんな自分と同学年か年下なのに、奥が深いことを発言したり、自分よりも勉強していたり。

(初めは)年齢なんて関係ないと思っていたのですが、年齢を重ねるということは、それだけ勉強してきたということなんだと感じました。「そういう意見もあるんだ」と思うことが多くて、本当に勉強になりました。でも、他大学には負けてられないです!

Q. 最後に、キャンプの感想やメッセージをどうぞ!

A. 楽しくできたということが一番良かったです。どんな人とグループになっても、コミュニケーションすることが(自分の中で)一番楽しいことだと思っているので、グループワークなどを通じたこういう企画を設けていただいて、先生方の意見などのフィードバックもあって、自分のスキルアップにもなり、大変感謝しています。

今度同じような企画に参加する学生には、積極的に、自分から発信して行って欲しいと思います。そうすればグループワークも円滑にいくのではないかと思います。



長野大学
松嶋 欽一さん



「長野県内大学合同就職説明会」開催を通して感じたこと



株式会社アイバック 営業企画部長長野担当
石倉 宏幸

現在、学生の就職環境は大変厳しいものになっています。多くの採用試験にチャレンジしてもなかなか内定が見えてこない…という学生の声が聞かれます。その一方で、企業の人事担当者からは、ミスマッチを嘆く声を多く耳にします。

応募者は多くてもどの学生もおとなしく、同じような志望動機ばかりで個性がない、と口を揃えたように言います。つまり、「就職難」と「採用難」が併存しているのが現状です。

このような中、昨年度から始まった、遠隔講義システムによる高等教育コンソーシアム信州の「長野県内大学合同就職説明会」。今年度は、合計17社の企業の皆様にご参加いただきました。

この説明会では、毎回、様々な業界・企業の人事担当者がプレゼンテーションを行い、各企業の「生きた情報」に触れることができました。そして、「生きた情報」から伝わる企業の魅力や個性がとても印象的でした。この「生きた情報」こそが、今の就職活動に最も必要といえるのではないのでしょうか？

ここ数年、学生の間や社会においても、就職活動のことを「就活」と略して呼ぶことが定着してきました。インターネッ

トを使って、非常に多くの情報を瞬時に、自らの足で『動くことなく』得ることができるのが今の「就活」です。もしかしたら「就活」は、動くことが少なくなり『動』の字が抜けてしまっているのかもしれませんが。

就職活動で最も大事なことは、自らの足で動いて確かめた所でしか得られない「生きた情報」を得ることです。学生の皆さんは、インターネットの効率的で便利な面は積極的に活用しつつ、ぜひ、自らが動いて、企業の方々とコミュニケーションをとってください！そして、企業の「生きた情報」を得て、実際に企業を感じてください！そうすれば必ず、いい結果が得られるはずですよ！

「長野県内大学合同就職説明会」開催報告

高等教育コンソーシアム信州では、前期に引き続いて「長野県内大学合同就職説明会」を開催しました（協力：株式会社アイバック）。メイン会場には県内企業の人事担当者にお越しいただき、企業説明等のプレゼンテーションを、信州大学、諏訪東京理科大学、清泉女学院大学、長野大学の各キャンパスへ遠隔配信しました。

■これまでの参加企業

第3回 10月20日（水）

シナノケンシ株式会社、日本連合警備株式会社、株式会社フォレストコーポレーション

第4回 10月26日（火）

株式会社アズミ村田製作所、アピックヤマダ株式会社、株式会社角藤、株式会社電算

第5回 11月10日（水）

新興マタイ株式会社、多摩川精機株式会社、長野県警察本部

「K³茶論」にお越しく下さい！

「K³茶論（ケー・スリー・サロン）」は、毎回異なる講師の方をお招きし、遠隔講義システムを活用して自由なテーマのもと参加者同士で楽しくトークをする、という気軽なスタイルの「茶論（サロン）」です。聴講者としてはもちろん、講師としても、どなたでも無料でご参加いただくことができます。毎月定例開催していますので、ぜひ一度足をお運びください！



※「K³」は、「高等教育交流（Koutou Kyouiku Kouryu）」の略称です。

※ホームページで過去のK³茶論を見ることができます。

⇒<http://www.c-snet.jp/textbook/k/>

■平成22年度 後期 開催テーマと講師

第15回 10月6日（水）

「科研費申請書作成のポイント」 信州大学 加藤 鉦三

第16回 11月19日（金）

「進化する観光ー5つのおもてなしー」 松本大学 山根 宏文

第17回 11月30日（火）

「3次元デジタルアーカイブ手法 ～ (1)美術品の3DCG再現、(2)人間の肌の3DCG再現～」 長野大学企業情報学部田中 法博ゼミナール学生

第18回 12月7日（火）

「パチ好き限定～篠原式ニューロマーケティング～」 諏訪東京理科大学 篠原 菊紀

後期「遠隔授業」開講中です！

9月22日から、平成22年度後期「遠隔授業」が開講しています。後期は全12科目が配信され、前期よりも多い、県内8大学の学生645名（遠隔地受講者50名）が受講しています。

■後期「遠隔授業」配信大学と科目名

月 信州大学 「哲学と政治」「ドイツ語（初級）Ⅱ」

火 信州大学 「民主主義について」、松本大学「社会学」

水 諏訪東京理科大学 「医用生体工学」「機械システム工学通論」「環境マネジメント」

木 長野大学 「生態学B」「現代中国事情」

金 信州大学 「環境文学のすすめ」「新聞と私たちの社会（信濃毎日新聞寄附講義）」「大学院生向け英作文（単位なし）」

加盟大学の紹介

高等教育コンソーシアム信州に加盟する、長野県内の8つの高等教育機関(信州大学、長野県看護大学、佐久大学、諏訪東京理科大学、清泉女学院大学、長野大学、松本歯科大学、松本大学)の中から、毎号2大学ずつ、特色ある活動や取り組みをご紹介しますが、今回が最終回です。

佐久大学

〒385-0022 長野県佐久市岩村田2384 TEL : 0267-68-6680 (代表) URL : <http://www.saku.ac.jp/>



佐久大学は平成20年4月、佐久の地に開学された、看護学部看護学科と別科助産専攻を有する新しい大学です。北に浅間山、南に蓼科山、八ヶ岳と美しい山々に囲まれ、周囲は稲作とりんごの栽培が盛んで、四季折々の風景を彩ってくれます。

本学の教育目標は、広く人間や社会についての理解に努め、豊かな人間性や幅広い教養を培い、真理を探究する力、国際的視野をもち国際貢献のできる力、多数の専門家と連携・協働できる能力を育てることなどです。即ち、豊かな人間性をもって、看護の知識と技術を身につけ、質の高い看護活動ができる看護職を育成することです。

特色ある授業として、2年次開講の「フィジカルアセスメント」をあげることができます。この授業は海外から客員教授を招き、講義と演習が行われ、本学の教員数人が通訳・翻訳・説明を担当します。学生も教員もかなりエネルギーを使いますが、ともに達成感を十分味わうことができ、国際的な感覚を体験できる良い機会になっています。

また当地は、地域医療活動の盛んな所としても知られています。大学の近くには、歴史的にも輝かしい業績をもった佐久市立国保浅間総合病院やJA長野厚生連佐久総合病院があり、本学は両病院と密接に連携して実習や研究を遂行できる環境にあります。臨地・臨床での看護教育において、このような環境の下、特色ある実習を展開しています。



信州大学

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1 TEL : 0263-35-4600 (代表) URL : <http://www.shinshu-u.ac.jp/>



信州大学農学部では、食料生産科学科2年生が「生物生産一貫実習」「持続的生物生産システム実習」で、お米、野菜、果樹の栽培、動物の飼育管理の実習を行っています。そこで生産された野菜等は、農学部の生産品販売所(上伊那郡南箕輪村)で、一般市民、学生、教職員の方に購入していただいています。そこで得た収入は農学部のフィールドに還元され、学生が教育・研究を行う環境の整備に役立たせていただいております。

今年度は、本学部大井美知男教授が品種改良した苺「信大交配8-9」の栽培に取り組み、ジャム及び生食での販売をすることができました。教育の一貫として生産から販売までを学ぶため、「『大学は美味しい!!』フェア」(主催:小学館)等、外部のイベントにも積極的に出展し、食の安全・安心をPRしながら販売を実践しています。

農学部生産品販売所では、年間を通していろいろな農作物・加工品等を販売しておりますので、是非お気軽にお立ち寄りください。

お問い合わせ先: 信州大学農学部附属施設係

(電話: 0265-77-1318 URL: <http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/>)



賛助会員加入と会員募集のお知らせ

県内高等教育と地域の発展を目指す高等教育コンソーシアム信州を、サポートして下さる会員を募集しています! 詳しくは高等教育コンソーシアム信州事務局までお問い合わせください。

■年会費 特別会員(長野県内地方公共団体)、賛助会員(団体・個人)とも、1口1万円、1口以上

■会員特典

- ①高等教育コンソーシアム信州のホームページに、会員として社名(団体名・個人名)を掲載させていただきます(リンクを張ることも可能です)。
- ②高等教育コンソーシアム信州のパンフレットに、会員として社名(団体名・個人名)を掲載させていただきます(ただしパンフレットは年1回発行のため、年度途中で会員になった際は掲載できないことがあります)。
- ③高等教育コンソーシアム信州が主催するフォーラムや講演会の案内をお送りいたします。
- ④「S-NET NEWSLETTER」などコンソーシアムの刊行物をお送りいたします。
- ⑤会員団体の企画を高等教育コンソーシアム信州が後援いたします(書類提出等の手続きがあります)。

◇10月1日付で賛助会員としてご加入いただきました。どうぞよろしくおねがいいたします!◇

株式会社映像センター様、メディアサイト株式会社様

障害学生支援フォーラムに共催しました

9月10日(金)、信州大学において障害学生支援フォーラムが開催され、高等教育コンソーシアム信州が共催しました(主催:信州大学学生支援GP/発達障害支援部門)。フォーラムの様子は、信州大学各キャンパス、清泉女学院大学、長野大学へ遠隔配信されました。

【主な内容】障害者就労支援関係機関のスタッフによる支援サービスの紹介、長野大学・信州大学における就労支援、パネルディスカッション

編集後記

事務局前の空きスペースには、コンソーシアム関係のポスターを掲示しています。後期遠隔授業では先生方のご協力のもと、一部科目ですがPRポスターを作成し、空きスペースも徐々に埋まってきました。今ではすっかりコンソーシアムの掲示板。入口から吹き込む風にもはがれないポスターは、地道に活動を続けるコンソーシアムそのものだなあと思う冬の日です。